

つちうら防災ノート

☎防災危機管理課 (☎内線2271)

大切なペットを災害から守るために

災害時には自分の身だけではなく、ペットの安全についても考えておく必要があります。いざというときに適切な同行避難ができるように、日頃から準備しておきましょう。

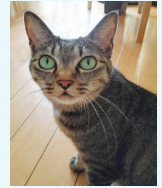
◆ペットとの避難所生活に向けて

避難所での生活においては、水やフードなど、ペットの避難用品が必要です。また、「待て」や「おすわり」といった基本的なしつけをする、ケージやキャリーバッグでおとなしく過ごせるようにするなど、日頃から心掛けましょう。

◆避難先や預け先を事前に決めておきましょう

ペットとの同行避難が可能な避難所は小・中学校などの指定避難所ですが、介助犬を除いて、避難所内でペットと一緒に過ごすことはできません。

また、ペットの種類や体の大きさによっては同行避難ができない場合があります。飼育しているペットが同行避難できる動物かどうかを県ホームページなどで事前に確認し、必要に応じて親戚の家などの預け先を検討しておきましょう。



環境省 「ペットの災害対策」 ▶



茨城県 「ペットを災害から守る準備はできていますか？」 ▶



防災クイズ

ペットの避難用品として必要なものはどれでしょうか？

①水・フード ②トイレ用品 ③療法食・薬



答えは19ページ最下部にあります。

地域安全情報 No.129

☎生活安全課 (☎内線2298)

全国地域安全運動

期間 10月11日(水)～20日(金)

◎10月11日は、「安全安心なまちづくりの日」です。

全国地域安全運動は、「地域安全活動」への関心を高め、身近な犯罪を防ぐことを目的としています。

「地域安全活動」とは、安全で安心して暮らせるまちを実現するため、地域ぐるみで防犯に取り組む活動です。全国各地で地域住民が中心となり、自治体・学校・警察・事業者などと連携しながら、防犯ボランティア団体が活動しています。

市内では、168団体の自主防犯組織が結成されており、地域の治安維持のための青色防犯パトカーによる防犯パトロールや、防犯に関するキャンペーンなどを行っています。



青色防犯パトカー▶

歩行者の安全確保

県内の歩行者の交通事故死者数(令和4年中)

- ・死者数 32人(前年比1人減)
- ・死者数のうち道路横断中の高齢者が15人
- ・時間帯別では「20～22時」が最多の6人
- ・年齢別では「80歳以上」が最多の8人

歩行者の注意点

- ・道路横断時は横断歩道を利用する。
- ・夜間などは反射材や明るい色の服を着用する。

運転者の注意点

- ・横断歩道手前では減速し、横断歩道では歩行者を優先する。
- ・日没前からライトを点灯、こまめな上下切り替えを心掛ける。

